

1月に向けて

代表取締役 三田雅憲

寒さが一段と厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしですか？

令和4年、2022年もいよいよ終わり、新しい令和5年を迎えようとしております。

西暦2022でニコニコの年であるはずでしたが、現実にはロシアとウクライナの戦争、新型コロナの猛威の継続、これらによるエネルギー（電気・ガス）の高騰や、食料品などの物価の高騰が続き、挙句の果ては軍事費増強の為の増税法案の通過と国民生活においては厳しい内容ばかりです。

嬉しいニュースとしては日本がオリンピックで、たくさんの金メダルを獲ったことや、選抜高校野球で大阪桐蔭高校が優勝したり、大リーグで大谷が大活躍したことは嬉しい内容であったように思います。

当社の嬉しいニュースはまず新型コロナに感染して休みをとられた社員が非常に少なかったことです。又感染されても重症化した方もおらずに済んだことが良かったと思います。

千葉では労災事故が発生してF君が事故に遭われましたが、こちらも怪我はされましたが、命に別条なく本当に良かったと思いました。

4月にはI君が入社してくれ、良くなじんでくれて今も頑張ってくれている様子に本当に良かったと思いました。6月にはM君が入社しました。私の次男としてのプレッシャーはあると思いますが、社員皆に迎えてもらい良かったと思います。

又事務的には総務課のNさんがDXのプログラムを完成させてくれたことも当社のデジタル化に大きな影響を与えてくれました。

そして何より来春の新卒者として3名の諸君が内定され、当社の仲間となることは大変嬉しいことです。

当社を会社研究した上で受験し、様々な会社の中から当社を選んで頂いた20年ぶりの新卒採用者となります。当社が彼らの社会人としてのスタートを切る会社となります。今後、友人と会社の話をされることも多いと思いますが、そんな折でも彼らが「うちは暖かい先輩が多いし、技術的にも奥が深いから楽しいよ」とか「食事がとても美味しい会社やで」とか「ライブラリーがあって勉強もできるよ」などなどそんな会話をしてもらえるように、今いる皆様が生き生きと彼らの社会人人生のスタートを切れるようにどうぞご協力をお願いします。

そして一方辛かったニュースとしては、5年間当社女性現業社員1号として、頑張って一線を張ってくれたM班長代理が当社からこの12月卒業されることです。

厳しい男社会の中で、とても気張ってやってきてくれました。当社においても女性がより一層活躍していつくれるだろうと考えてた矢先で残念な思いが大きいのですが、彼女がいてくれたおかげで変化したこともたくさんあります。又このような方がいつまでも当社にとどまり人生を全うしてもらえそうな会社づくりを残った社員皆で作っていきたく思います。

後任のH班長代理にもプレッシャーがかかりますが、ぜひ頑張ってください。またそれに伴ってN君がRI工場のブース担当になりました。こちらも大変プレッシャーのかかる仕事ではありますが、更なる飛躍のために頑張ってください。

4月には大阪・千葉共に新卒社員が夢と希望を持って入社されます。共に仲間として受け入れてあげて欲しいと思います。

M班長代理の未来に祝福させて頂くことと共にぜひ当社で学ばれたことを誇りに思ってこれからも頑張ってください。応援しております。

いろいろな思いをした2022年度でしたが、きっと2023年は忙しくなる予感がしております。大型のプロジェクトも多く、又私どものサンプルがスペックインしているものも多くあります。

卯年としてピョンピョン大きく跳ね上がり飛躍できるように大阪及び千葉の皆様と協力して新しい年を共に頑張っていきたいと思っております。どうかこの1年もよろしくお願いたします。